

10月ももう終わり、留学生活も残すところ1か月ほどになりました。

10月は初めの二週間にスクールホリデーがありました。スクールホリデーでは、環境活動を行っている団体が開催した気候変動についてのイベントに参加しました。気候変動についての講義や、参加者と話し合っ団体がいかにして環境保護に貢献していくかについての議論などを行いました。人生でそのような経験をしたことがなかったので、何もかもが初めての経験でした。英語がつかない私でも温かく受け入れてくれたので、とても良い経験になりました。ボランティアの活動は、社会や地球に貢献できるだけでなく、その活動の中で初対面の人と話しながら、互いのことを少しずつ知っていくのが楽しかったと感じました。私が参加したものは、直接的に地球の気候変動の課題について貢献したものではなかったので、帰国後に時間が合えば、自分から直接貢献できるようなボランティア活動に参加してみたいと思いました、

ここでの生活も残り1か月近くになり、1月からの生活を振り返ることもあります。留学生活では、楽しいことより辛いことが圧倒的に多かったです。すべてが明るい思い出、記憶ではないですが、日本で生活するより勇気出す場面がとても多く、乗り越える壁も高かったように感じます。その分、自分の中で何か成長できた部分があればいいなと思っています。何もかもが初めての経験で、自分の感情、人生について向き合う時間が多かったように感じます。夢中で過ぎていった時間はとても短かったですが、その中で、培っていたコミュニケーション力や関係性、自分の能力が成長していればいいなと思います。しかし、海外で生活してみて、自分の世界や視野が広がったように感じました。今まで同じ土地でずっと生活している前提で物事を考えがちでしたが、自分の将来の可能性はもっと広いものかもしれないと少しですが信じられるようになりました。自分の知見や世界、視点をもっと広げられるように残り一か月全力で駆け抜けていきたいと思っています。

白鷗高校 15 期生 次世代リーダー育成道場第 11 期生 N・F

